

環境メールマガジン (第36号)

発行日：令和3年3月3日
発行元：野洲市環境経済部環境課
「野洲市事業所環境保全推進事業」
電話：077-587-6003

野洲市では、平成21年度より「野洲市事業所環境保全推進事業」を推進しています。

この事業の一環として、市内事業所の環境担当者が、環境関連法令の制定・改正や環境管理の技術等を勉強されて、環境関連法令の遵守と事業所周辺の環境保全に積極的に取り組んでいただくことを目的に「環境研修会」を開催しており、本年1月開催の研修会で第26回を迎えました。

本号では、今後、開催する研修会に事業所の環境担当者のより多くの方々が参加していただけるように最近の研修会の内容をご紹介します。

1. 第25回「持続可能な開発目標(SDGs)を事業活動に取り入れるためには」

講師：NPOびわ湖環境 芝本 伊三男 理事

令和2年11月18日に野洲図書館で開催し、16名の受講者がありました。
持続可能な開発目標(SDGs)の講義から、17のゴールと169のターゲットを理解して自社で取り組むゴールを決めること等具体的に事例を挙げて講義して頂きました。

1. SDGsとは―― 2015年9月国連サミットで採択された

- ・可能な開発のための2030アジェンダに記載された
- ・発展途上国だけでなく、先進国まで、すべての国が取り組む2016年から2030年までの国際目標
- ・取り組みは義務でなく、自主的な取り組み
- ・理念は誰一人取り残さない世界の実現

2. なぜ、SDGsなのか？

- ・パリ協定、ESG投資で世界の潮流が変わり始めている
- ・日本でも、政府による自治体SDGの推進、経団連の企業行動憲章の改定で、持続可能な調達ニーズの高まりと、機が熟しつつある
- ① SDGsに興味を持つ・知る
- ② 事業の分析と検討・SDGs宣言
- ③ 本業としてSDGsに取り組み実践する

3. 中小企業がSDGsに取り組むメリット

- ①企業イメージの向上
- ②社会課題への対応
- ③生存戦略につながる
- ④事業機会の創出
- ⑤ステークホルダーとの関係強化

4. 具体的にどのように取り組みするのか

- ・企業活動に沿ったターゲットを選ぶことが第一
- そのためには、17のゴールと169のターゲットを知る
- 17のゴールと169のターゲットを理解したうえで自社で取り組むゴールを決める
(全部取り組む必要はない！)

5. コミットメントを宣言及び公表する

6. 取り入れ事例の紹介

- ・滋賀県や企業の取り組みを紹介された

7. まとめ

- ・日本は、2019年に発表されたSDGsに取り組む達成度ランキングは15位
- ・企業が自社のミッションに基づいたサステナブルな取り組みを行うことは持続可能な開発を実現させるために不可欠
- ・ネットワークを広げてゆけば、良い行政、良い会社、良い人、良い商品、良いサービス、良い環境が地域や地球に広がる

まずは、SDGsへの理解を深めるところからスタートしましょう！



講義の様子①



講義の様子②

上記のように、市内事業所の皆様には持続可能な開発目標(SDGs)を事業活動に取り入れるために理解を深めていただきました。

2. 第26回「環境マネジメントシステム「エコアクション21」取得によるメリットについて

講師：NPOびわ湖環境 酒井 輝義 理事

令和3年1月20日に野洲図書館で開催し、7名の受講者がありました。

講義の内容はエコアクション21の取り組みが環境経営に必要な背景やエコアクション21の概要について講義して頂きました。

1. エコアクション21とは

- ・環境省が策定したガイドラインに基づき、環境マネジメントシステムを構築し環境経営に取り組むことです
- 2021年1月10日現在、全国で7,714社が認証・登録されています

2. 環境経営が必要な背景

- ・環境課題への対応は時代とともに変遷
- 公害問題の深刻化、被害の拡大 → 石油ショック、オゾン層の破壊 →
- 地球環境問題の深刻 → 持続可能な開発目標(SDGs)、BCP等

- ・地球温暖化と気候変動
- ・気候変動は世界的な脅威
- ・国際会議で採択された重要なできごと
 - ☆ 2015年9月 SDGs(持続可能な開発目標)
 - ☆ 2015年12月 パリ協定
 - ☆ 2018年6月 海洋プラスチック憲章
- ・国内では、菅首相が温室効果ガスを2050年までに実質ゼロを目指す方針を表明
- ・国の取組におけるエコアクション21の取扱い
 - ・平成28年5月13日閣議決定 地球温暖化対策計画
 - 中堅・中小企業向けエコアクション21などPDCAサイクルを備えたマネジメントシステムの普及を進め 環境経営の実効性を高めていくとともに、企業における従業員の教育を促すことで、事業活動における更なる環境配慮の促進を図る
 - ・令和元年6月 SDGs推進本部
 - SDGsの達成に向けた環境経営の実践を促すためエコアクション21といった環境マネジメントシステムの運用にSDGsを取り組み、サプライチェーン全体のグリーン化を推進する

3. エコアクション21の概要

①PDCAの継続的改善

P:計画の策定、D:計画の実施、C:取組状況の確認及び評価、A:全体の評価と見直し

4. 具体的な取組の概要

- ①取り組みの対象組織・活動の明確化
- ②代表者による経営における課題とチャンスの明確化
- ③環境経営方針の策定
- ④環境への負荷と環境への取り組みの状況の把握及び評価
- ⑤環境関連法規などの取りまとめ
- ⑥環境経営目標及び環境経営計画の策定
- ⑦実施体制の構築
- ⑧教育訓練の実施
- ⑨環境コミュニケーションの実施
- ⑩実施及び運用
- ⑪環境上の緊急事態への準備及び対応
- ⑫文書類の作成・管理
- ⑬取組状況の確認・評価並びに問題の是正及び予防
- ⑭代表者による全体の評価と見直し・指示
- ⑮環境経営レポートの作成

5. まとめ

- ・事業所等においては、地球温暖化対策としての取り組みが求められており、エコアクション21はそのツールとして活用出来る
- ・エコアクション21で作成した、環境経営レポートは公表されるので、企業価値向上に活用できる

上記のように、エコアクション21について理解を深めていただきました。

コロナ禍の中、参加される事業者も例年より少なかったですが、検温、手指消毒や3密対策等を講じて無事何事もなく研修会を終えることができました。